



HAKUBA H.S. Report Channel

白馬高校レポートチャンネル

令和4年6月15日（第170号）

発行：白馬高校 教務係

TEL 0261(72)2034(代表)

ホームページも
ご覧ください⇒



5月13日 団体旅行のオペレーション実習&SDGs 交流



修学旅行で白馬を訪れた吹田市立西山田中学校 3年生の皆さんと SDGs 交流を行いました。出迎えや会場への案内など当日の運営は、「観光Ⅱ」を受講している2年観光コースの生徒が担当しました。

SDGs 交流は、3グループ、3つの会場に分かれて行いました。3A、3B 教室では、断熱改修に関わった3年生が、断熱プロジェクトが生まれた経緯や断熱改修の実際と改修後の効果、また自分たちで行動することの重要性について、改修後の天井・壁・窓を実際に見てもらいながら説明しました。3C 教室では、中学生の皆さんが中学校で自分たちが取り組んできた SDGs の様々な活動についてプレゼンをしてくれました。プレゼンを聞いた本校生徒は「自分たちよりも年下の中学生が堂々と発表していてすごいと思った。SDGs に対して色々なアプローチができることを知れてよかった」と感想を語りました。今回の交流を通して、互いに刺激し合うことができました。



5月19日 白馬を楽しむ日

1年生が白馬村内の名所を巡り、白馬の魅力を発見するグループ学習を行いました。生徒たちは、普通科・国際観光科をミックスした11班に分かれて、それぞれが事前に作ったプランに沿って村内を巡りました。

生徒たちの一番人気は岩岳マウンテンリゾートで、プランコやマウンテンカートなどのアトラクションを楽しむ姿も見られました。白馬三枝美術館を訪れたグループは館長さんにインタビューし、白馬と芸術文化について学習しました。



帰校後、撮ってきた写真をもとに簡単な報告会を行いました。生徒たちのベストショットはどれも白馬の魅力をとらえたすばらしいものでした。発表を聞いた学校長からは「これから自分の言葉で力強く語れるようになろう」と、今後の発表の機会に向けての励ましがありません。今回のイベントをきっかけに、生徒たちにはこれからも白馬を巡って、感じた魅力を周りの人に伝えてほしいと思います。

5月30日 デュアル実習協定書締結式



白馬における「本物」の学びの一環として、本校では毎年、地元企業の皆様にご協力をいただき、正社員に準じた内容の仕事に就いて業務を広く深く経験する本格的な企業実習を実施させていただいています。今回は白馬東急ホテル様と水ingAM 株式会社様で国際観光科3年の生徒2人がお世話になります。

白馬東急ホテル様で実習をスタートした生徒は、「フロントと連携してお客様をお迎えし、客室まで案内するのはとても緊張するけれど頑張ります」とこれからの意気込みを語りました。水処理施設の運転・保守管理業務を主に行っている水ingAM 株式会社様でお世話になる生徒は、人々の生活基盤を支える大切な仕事に今からやる気十分な様子でした。貴重な機会を最大限に生かして、自分たちの将来につなげてくれることを期待しています。

6月1日 主権者教育

この夏、白馬村の村長選挙をはじめ、参議院選挙と長野県知事選挙を控える中、生徒の選挙や政治に対する関心を高めることを目的として、白馬村役場で3年生を対象に主権者教育を実施しました。

最初に、新潟大学創生学部の田中一裕教授から、情報社会を生きる主権者としての心構えについて学んだあと、架空の候補者の政見放送と選挙公報を見て模擬投票に臨みました。

参加した生徒は、「これまで選挙は難しいイメージがあったが、模擬投票を通して身近に感じる事ができた。実際の選挙が楽しみ」と話し、今回の体験を通して選挙に対する意識が変わったようです。自分たちが社会の一員であるという自覚を持ち、他者を尊重しながらよりよい社会づくりに参画していってくれることを願っています。



6月7日 「観光コミュニケーション英語」フィールドワーク



国際観光科2年の「観光コミュニケーション英語」では毎年、生徒による英語ガイドツアー実習を行っています。今回はその事前学習として、プロのガイドをお招きして、実際に地獄谷野猿公苑と小布施、善光寺を巡りながら、英語でのガイドの実際を学びました。

今回ガイドをお願いしたのは、日本でのガイド歴12年のジョン・デイリーさん（Ski Japan Holidays）で、コロナ禍により約2年ぶりのツアーだったようですが、そのブランクを感じさせない見事なガイドで生徒を案内してくださいました。以下生徒の感想です。

「ジョンさんの知識がとにかく豊富で驚いた」

「とてもフレンドリーでずっと笑顔だった」

「ジョンさんの堂々とした話し方や問いかけを私もまねして取り入れたい」

今回の貴重な学びを生かして、ジョンさんのガイドのようにお客様を楽しませるツアーを考案・実施してくれることを期待しています。